

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	65	事業名	平成こども塾事業	担当部課	建設部みどりの推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち	決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり	会計区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款 - 項 - 目)	9-4-1 社会教育総務費	
	その他(関係計画、要綱等)	有 平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画等	9-4-1 社会教育総務費		
	事業開始の背景、経緯等	平成11年に策定された第4次総合計画の柱の一つ。環境緑地系プロジェクトとして「長久手田園バレー構想」が実施された。その子ども版プロジェクトとして平成18年4月に「長久手町(現市)平成こども塾がオープンした。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・平成こども塾の施設管理・運営等を行う。 ・地域の環境や自然についての学習活動 ・学習活動を通じた地域住民との交流 ・学校連携活動
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 小、中学生
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 里山の豊かな環境を生かした体験活動による、子どもたちの生きる力の育成

コスト推移	項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	事業費(A)	千円	予算	12,426	14,614	15,351	19,025	23,314
			決算	11,647	14,297	14,802	16,566	
人件費(B)	千円	決算	21,164	17,736	14,219	15,121		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	32,811	32,033	29,021	31,687		
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		4,111	4,342	4,224	1,934	1,900	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		7	7	8	11		

設置目的	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	参加者の満足度	%	目標	85	85	90	90	90
			実績	98	98	97	98	
	(指標の設定根拠) 平成こども塾条例第1条(設置目的)を実現するにあたり、最も適切な指標であるため。 (前年から指標を変更した場合はその理由) (前年までの指標)	(数値目標の根拠) プログラム終了後に4段階評価のアンケートを実施し、上位2段階(とてもよかった、よかった)を満足度が高いと評価・集計して、90%以上を目指す。						

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 参加者に大きなけがもなく、参加者の満足度も高かった。アンケートでは、(こどもが)初めての体験ができた、長久手の身近な自然に気付いた等の意見が多くあった。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、市の方針により令和2年4月1日から5月末まで休館としてプログラムは中止した。その休館日を利用して、用具の整理・整備のため棚等の製作を行った。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっている。対策として生涯学習情報誌「スマイル」や平成こども塾ホームページへの募集記事掲載及び大人向け工作プログラムを実施することで講師の発掘、勧誘を行っている。学校連携講師に対しては、本年度から謝金額を上げて参加意欲が高くなるようにした。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	平成こども塾体験学習事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	6,200	6,000	6,000	6,000	6,000	
			実績	3,124					
	(2) 【アクションプラン実施回数(単年)】	回数	見込	200	190	190	190	190	
			実績	110					
	(3) (その他の指標)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から同年5月31日まで休館となりその間のプログラムを中止した。また、令和2年度は「食プログラム」を中止し、内容変更して事業を継続した。学校連携の活動においては、学校側と協議の上68回の予定を15回に変更した。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	長久手版プレーパーク整備事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	-	-	-	10	50	
			実績	-	-	-			
	(2) 【アクションプラン整備箇所数】	箇所数	見込	-	-	-	1	1	
			実績	-	-	-			
	(3) (その他の指標)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R2年度(2020))> プレーパークの実現に向け、名称の周知とプレーパーク実施者発掘のため、令和2年11月15日に講演会を実施した。また、プレーパーク実施に積極的であった市民グループが新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止中。令和3年度末に本事業の計画見直しを行う。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業③	事務事業③	[削除された事業]							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) かまどを含む平成こども塾の施設管理・保全を定期的に行う。プログラムへの参加者動向を把握して、内容を充実する。平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業の講師の新規参加促進と育成を行う。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 「平成こども塾マスタープラン」の計画年である2026年を見据え以下を実施する。1プログラムの展開、2学校連携プログラムの充実、3子ども同士のコミュニケーションの促進、4プログラム講師の若返りを順次図る。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革指針に係る「財政改革の推進」、「協働事業の拡大」、「市民参加の仕組みづくり」を踏まえ、引き続き事業に取り組んでください。
内部意見への回答		